

ご自由にお持ち下さい。

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

najyodasu なじょだす

Vol.65

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

盛岡赤十字病院広報誌 vol.65

【なじょだす】(岩手の方言)

相手の健康を気づかうなど、「いかがですか」の意味。
当院のシンボルツリーのコナラの木は、正面玄関前にそびえ立ち、
訪れる人々に「なじょだす」と語りかけているかのようです。



奏でるハーモニー♪ 少年少女合唱団による「クリスマスコンサート」

特集 脳神経外科の行う内視鏡治療
新しい血管撮影装置のご紹介

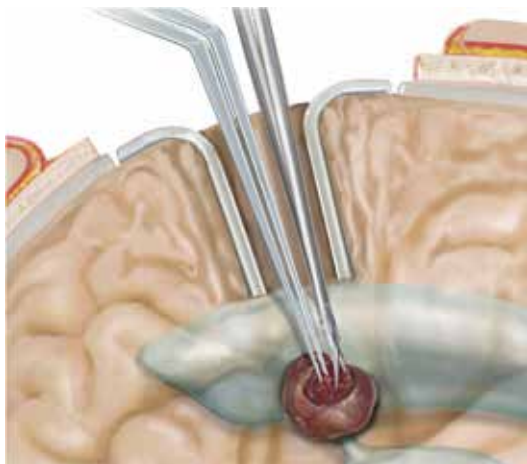
● 地域医療連携室よりお知らせ
連携医療機関のご紹介

- 眼科白内障手術再開のお知らせ
- 提携医療機関検索サービスのご案内
- 防火・防災・BCP訓練
- **連載** 医訪人 研修医

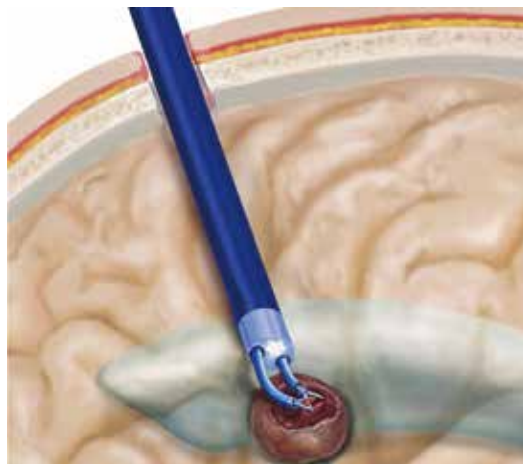
現在、病院で行われるほとんどの治療に内視鏡は欠かせないものになっています。脳の病気でも1990年代からは積極的に内視鏡を用いた治療が行われるようになってきました。脳神経外科の行う内視鏡治療は「神経内視鏡手術」と呼ばれ、主に脳内出血、水頭症、下垂体腫瘍に対して行われています。内視鏡手術の特徴は傷が小さくて済み、特に神経内視鏡手術は脳に対する負担も開頭手術に比べて少なく済み（図1）。

図1

開頭手術



神経内視鏡手術



また、脳の深部にある病変であっても、病変を直接観察しながら処理できるため、脳内出血除去などは従来よりも安全に出来るようになりました（図2）。

図2

脳内血腫



神経内視鏡手術後



ただし、全ての手術が内視鏡で出来るわけではありません。当院では20年以上の経験のある医師が手術を行っており、神経内視鏡手術が有利であるケースを慎重に選んで手術を行っております。

**脳神経外科に関する症状でお困りごとがございましたら
お気軽に当院へご相談ください。**

新しい血管撮影装置のご紹介

血管撮影装置の更新が行われPHILIPS社のAzurion7 B20/12を導入しましたので、血管撮影とは何かと新装置の紹介をいたします。

血管撮影とは

手首や太ももの付け根の血管から細い管（カテーテル）を挿入し、X線透視画像を見ながら目的の血管までカテーテルを進めて行います。血管内にX線で見える造影剤を注入しながらX線撮影を行うことで血管の様子をリアルタイムで映し出し、血管の形態や流れを調べる検査です。検査だけではなく、狭くなった血管を拡げる画像下治療（IVR）等も行われています。

新装置紹介

2つのX線管球を搭載し、2方向同時撮影が可能なバイプレーン血管撮影装置が導入されました。同時に2方向から透視や撮影を行うことで、1方向しか撮影できないシングルプレーン装置に比べ造影剤使用量を減らすことができ、検査や治療時間の短縮も期待できます。

また、高性能なX線検出器（FPD）を搭載しており、低線量で画質の高い画像を得られます。末梢血管の描出に優れ、造影剤や構造物の濃度を微細に検出することが可能です。さらにClarity IQというPHILIPS社独自のシステムも搭載しており、より高いレベルの被ばく低減を実現しています。

新装置導入により造影剤使用量を減らし、被ばく低減や検査・治療時間の短縮など手技における患者様の負担軽減が期待できます。寝台には低反発マットを装備しており、長時間の手技で寝ていても疲れにくくなっています。

新装置により、今まで以上に患者様に優しい医療の提供が可能となりました。



眼科白内障手術再開のお知らせ

この度、10月より当院眼科の白内障手術が再開しております。休診とした際、患者様や連携病院の皆様にはご協力いただきありがとうございました。

入院にて白内障手術をお考えの患者様につきましては、お近くのかかりつけ医や当院へご相談いただけますと幸いです。

手術日：毎週水曜日 2泊3日の入院となります

※現行通り、日帰りの硝子体注射も行っております

ご紹介方法

外来申込書・診療情報提供書を当院地域医療連携室へお送りください。

予約受付

電話：019-637-3312（直通） 受付時間 平日 8：30～17：00

FAX：019-637-3313（専用） 受付期間 平日 8：30～16：50

■連携医療機関のご紹介

やはば産婦人科

当院は平成28年6月11日に矢巾町に新規開院致しました。現在助産師3名、看護師3名、准看護師3名、看護助手5名、事務員3名の体制にて診療を行っております。正しい診断治療をもとに患者様に親切丁寧な説明を常に心掛けております。予定、緊急帝王切開を含め月平均15～20件程の分娩を取り扱い開院以来現在までに約1500名の児が誕生しております。子宮がん検診はもとより最新のマンモグラフィー装置を備え乳がん検診にも力を入れております。盛岡赤十字病院様には産婦人科のみならず各科の先生方には日頃より大変お世話になっております。これからも盛岡赤十字病院様のバックアップのもと地域医療に最大限貢献して行く所存であります。どうぞ宜しくお願い致します。



院長
新沼 武成 先生



- 〒028-3609 岩手県紫波郡矢巾町医大通2丁目4-6
- TEL : 019-698-1122 ●<http://www.yahaba-sanfujinka.com/>
- 外来診療時間（月曜日～土曜日） 受付時間 午前 8:30～10:30 午後 2:30～4:30
- ※木曜午後・土曜午後手術 ※日曜・祝日休診

提携医療機関検索サービスのご案内

～地域の中核を担う病院と連携する医療機関～

当院では、来院者の便利性向上と地域医療連携の推進等を図るため、デジタルサイネージを設置いたしました。これに付随したサービスとし「提携医療機関検索サービス」がございます。QRコードからスマートフォンで簡単に提携医療機関が検索できるサービスです。

①待合
スペース








医療機関名はもちろんのこと、気になる症状や体の部位を入力いただくと関連する医療機関の検索が可能です。
ぜひ一度お試しください！



(地域医療連携室)

防火・防災・BCP訓練



12月19日（火）、院内防火・防災・BCP訓練を実施しました。震度6強の直下型地震が発生し、その後院内で火災が発生したという設定のもと、消火や避難誘導訓練を行いました。

また、被災された患者様の受け入れを想定した防災・BCP訓練も行いました。

当院では火災や震災などの緊急時に冷静な行動が取れるよう、訓練での反省を活かし、今後も病院全体で防火・防災に取り組んでいきます！



(防災対策委員会)

もりおかにつせき

医訪人 その58



研修医
近藤 有佳

はじめまして。一年次研修医の近藤有佳です。

初期研修が始まり、早いもので9ヶ月が経過しました。最初は緊張してばかりだった当直にも慣れ、できることが徐々に増えてきました。また、11月に京都で行われた日赤医学会総会には一年次研修医7人全員で参加させていただき、全国にある赤十字病院との横のつながりを感じつつ学生時代とはまた違った学術的知識を得る機会にも恵まれました。

まだまだ各方面にはご迷惑をかけてばかりで反省の日々ですが、指導医やスタッフの皆さんの愛ある指導を胸に気を引き締めて研修に励みたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

盛岡赤十字病院

〒020-8560

岩手県盛岡市三本柳6地割1番地1

Tel.019-637-3111 Fax.019-637-3801

広報誌「なじょだす」Vol.65 令和5年12月1日発行

編集／発行 盛岡赤十字病院広報委員会

藤原 純、松葉真紀子、川村美奈子、田中 陽子
富岡 幸子、梅村 景太、平 苑佳、菅原 陽介
寺尾 優紀、板橋 亨一、齊藤 純子

盛岡赤十字病院

検索 🔍